

報告事項 セ

江原道教育庁との教育交流事業に係る教育長の訪韓について

江原道教育庁との教育交流事業に係る教育長の訪韓について、別紙のとおり報告します。

平成26年8月8日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

江原道教育庁との教育交流事業に係る教育長の訪韓について

平成26年8月8日
教育総務課

鳥取県教育委員会と江原道教育庁は平成7年度に姉妹結縁の協定を締結し、教育長と教育監の相互交流、児童生徒・教職員・PTAの相互交流など様々な交流を実施しております。

この度、下記のとおり教育長が江原道を訪問し、特色ある取り組みを行っている学校等の訪問及び意見交換を行いました。

1 教育交流概要

- (1) 期 日 平成26年7月22日(火)から25日(金)まで
- (2) 訪韓者 山本教育長ほか7名(通訳1名含む)
- (3) 相手方 江原道教育庁 閔丙熹(ミンビョンヒ)教育監ほか
- (4) 日 程

7月22日(火)	米子空港→仁川空港 仁川空港→春川市内 ＜春川市泊＞
7月23日(水)	江原道教育監表敬 －江原教育施策についての説明－ 錦屏(クムビョン)初等学校訪問 江原明震(ミョンジン)学校訪問<特別支援> ＜春川市泊＞
7月24日(木)	春川女子高等学校訪問 江原道経済副知事表敬(金美英(キムミヨン)) 春川市→原州市 江原教育科学情報院訪問 原州市→仁川市 ＜仁川市泊＞
7月25日(金)	仁川空港→米子空港

2 内容

(1) 閔丙熹江原道教育監表敬及び江原道教育施策の説明

閔丙熹教育監表敬の後、江原道教育施策の説明を聞き(DVD視聴等)、意見交換を行った。



○江原道の学校革新を「幸せプラス教育」という。これは41校あり、2011年から2015年2月までの4年間運営。ビジョンは「みんなのための教育」、基本精神は、自主性、創意性、公共性、地域性にある。

○保護者の社会的地位や経済能力について差別を受けないよう、支援。教育監の哲学は「お金のかからない教育」、小学校の放課後授業の授業料を支援したり、制服費を支援したりしている。また、教育福祉士を学校毎に配置している。経済の差が教育の差とならないよう頑張っている。

○生徒達が自主的に進路選択をできるよう、合理的な進路選択能力を身につけること等について支援している。また、地域社会と連携を結んでいる。小学校、中学校、高等学校の水準にあわせ、自己理解、進路探求、進路啓発の3つの段階で進めている。中学校と高等学校には、進路進学相談教師を配置。2016年江原道に進路教育院を開院予定。「夢を育て、夢を叶える」という江原道教育のモットーの下、様々な取組を行っている。

(2) 錦屏初等学校訪問



- 錦屏初等学校は、4年前は生徒数が40名程度だったのが、様々な取組の実施により、現在の児童数は146名。
- 学校の敷地は広く、緑に囲まれた自然豊かな環境にあり、学校周辺には多くの体験施設がある。勉強だけでなく遊びの時間を大切にする、様々な体験活動、生徒の違いに配慮した教育活動等が保護者から評判となり、さらにマスコミ、保護者の口コミ等により広がった。
- 春川市内の児童は、住所を変更しなくても、希望すればこの学校に通うことができる。
- 江原道出身の小説家金裕貞の感性を備える教育をし、朝の読書の時間を設ける等、創意力を育てるための探求教育を実施。
- スローガンは「愛で夢を育てる幸せな錦屏教育」、教育目標は「夢見る、楽しむ、遊ぶ、分け合う」これを韓国語で言うと語尾に4つのラがつくことから、「ラ・ラ・ラ・ラ・幸せな錦屏の子ども」という。

(3) 江原明震学校訪問





- 1954年開校、60年の歴史をもつ江原道唯一の視覚障がい児のための学校。学生は101名。
- 特色は、生徒グローバル化教育（モンゴル第116番視覚障がい特殊学校とMOUを締結、世界各国からボランティアを招いての英語キャンプ等）、1人一楽器の教育（様々な音楽教育を通じ生徒の人間力と自信を高める）、リハビリ職業体験教育（マッサージ、針、カフェ等）、また、江原道全域の視覚障がい児のための特殊教育を支援している。
- 地域との連携も大切にしており、地域の老人福祉施設へマッサージのボランティアへ出かけたりしており、好評。また、吹奏楽部はいろいろなところで公演を行っている。
- 2014年6月、視覚障がいがある子ども達に適応した（様々な補助機具等）「善良な図書館」を開設した。
- 事故等により途中で視力を失った方への教育、職業訓練等も実施している。

(4) 春川女子高等学校



- 80年の歴史を持つ名門女子校。2012年11月現在の新校舎に移転。
- SMILEプロジェクトを実施。これは、生徒たちの道徳性、人性を向上させるプロジェクトで、目標は、「多様なレベルに合わせた学習支援」「学生の適性と希望にあわせた進学進路過程の運営」「創意性と人性を啓発する特色ある教育課程の運営」以下5つのプロジェクトがある。
 - ・学生の実践型教育プログラム（生徒が自分の目標、レベルにあった授業を選択）
 - ・Study Angelのメンタリング（2年生が1年生を学習指導するもの）
 - ・白百合 Family プログラム（自信を持ってない生徒が入り、お互い励まし合ったり学習の情

報提供をしあったりする。)

・ Plan Korea (アフリカへの国際支援)

・ 1泊2日プログラム計画 (学校に泊まり、これまで3ヶ月間の成果を発表。)

○現在この学校が校内暴力ゼロなのは、白百合 Family プログラムの影響が大きいのではと分析している (白百合はこの学校のシンボリックな花)。

(5) 金美英江原道経済副知事表敬



○鳥取県と江原道が交流20周年を迎えたこと、最近の韓国の天候、また、今年相次いで起こったセウォル号の事故、ヘリコプター墜落事故等について話をした。

○金美英経済副知事が春川女子高等学校の出身であることから、先ほど視察した春川女子高等学校の話をした。

○今までの金美英経済副知事が鳥取県へ来県したこと、また山本教育長が江原道を訪問したこと等について話をした。

(6) 江原道教育科学情報院訪問



○2008年開院、江原道内の教職員を対象とし、ICT活用教育能力等を高めるための情報化研修を実施している機関。インターネットを使った遠隔教育研修も実施しており、2014年の延べ研修者数は、5500名。

○優秀な授業の配信、教育のための資料(映像等)の撮影、作成等もしている。

○撮影・録音設備、セキュリティー対策など、充実した環境が整備されている。